

## 会津美里町水道事業経営戦略の改定について

水道事業は、安定して良質な水道水を供給し、衛生的で快適な生活環境を実現するなど、町民生活や社会経済活動を支える重要な役割を担っています。

本町の水道事業は、施設の適正な維持管理と老朽管更新事業等の建設改良を行い、安全で安心な水の安定供給に努めております。

これからも町民の快適な生活を支えていくため、将来にわたって安定的・持続的なサービスを継続していくことが求められています。

しかしながら、人口減少に伴う料金収入の減少等により近年の水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増す事が予測されます。こうした中で、水道事業は高度経済成長期以降に急速に整備された社会資本が大量に更新時期を迎えつつあり、様々な課題を抱えています。

こうした状況に対応し、事業を安定的に継続していくために、国（総務省）はすべての水道事業に対し、「経営戦略」を策定して経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことを要請したことから、当町においても、平成 29 年 3 月に「会津美里町水道事業経営戦略」を策定しました。

計画策定後から 5 年が経過し、この間、水道事業における老朽管更新事業は、既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、平成 30 年度に計画を策定、令和元年度から工事に着手しております。

今後も水道事業を安定的に継続していくためには、中長期的な視点に立って、現状把握を十分に行いながら、人口減少などの社会情勢の変化や頻発する自然災害に対応していくとともに、将来を見通して経営基盤の強化を図っていくことが必要です。

そこで、今年度、さらなる効率的な事業経営を目指すため中長期的な経営の基本計画を見直し、経営戦略を改定するものです。